

令和6年度 野田中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

1 全国学力・学習状況調査

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均正答率(%)		平均無解答率(%)	
			国語	数学	国語	数学
3 年	学校	74	57	48	1.8	11.8
	大阪市	—	56	51	4.1	12.5
4月18日	全国	—	58.1	52.5	3.9	11.3

令和6年度 野田中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

調査結果から

【成果と課題】

〈国語〉

今年度の全国学習・学力状況調査において、国語の平均正答率は57%となった。大阪府と比較して±0ポイント、全国と比較して-1.1ポイントとなった。大阪府の中では平均であるが、全国と比較すると平均を下回る結果となった。

分類別に得点率を全国平均と比較して詳細を見ていくと、次のとおりである。「学習指導要領の内容」の「知識及び技能」の分類では「(2) 情報の扱い方に関する事項」の区分で+0.5ポイント、「(3) 我が国の言語文化に関する事項」の区分では+4.5ポイント上回る結果となった。「思考力、判断力、表現力等」の分類では「A 話すこと・聞くこと」の項目で+0.2ポイント、「B 書くこと」の項目で+0.2ポイントとなった。

「評価の観点」を見ると、「知識及び技能」の観点では+0.6ポイント、「思考力、判断力、表現力等」の観点では-2.2ポイントとなり、基本的な知識は身についているものの、応用的な問題になると正答率が下がってしまうことがわかる。特に、「思考力、判断力、表現力等」の「C 読むこと」の項目に関しては-5.3ポイントとなり、文章を読み、考える力に課題があるように見受けられた。

無回答率は全国3.9%、大阪府4.2%、本校1.8%と全国・大阪府と比較しても低く、学習に対する意欲が現れる結果となつた。

〈数学〉

今年度の全国学習・学力状況調査において、数学の平均正答率は48%となった。大阪府と比較して-3ポイント、全国と比較して-4.5ポイントとなった。大阪府・全国と比較すると平均を下回る結果となった。

分類別に得点率を全国平均と比較して詳細を見ていくと、次のとおりである。「学習指導要領の内容」の「A 数と式」の区分で-3.5ポイント、「B 図形」の区分で-6.5ポイント、「C 関数」の区分で-2.3ポイント、「D データの活用」の区分で-5.8ポイントとなり、どの項目も全国平均を下回る結果となつた。

「評価の観点」の分類では、「知識・技能」の観点で-4ポイント、「思考・判断・表現」の観点で-5ポイントと全体的な基礎学力定着が必要であることがわかる。

「問題形式」の分類では、「選択式」の項目で-4.7ポイント、「短答式」の項目で-3.2ポイント、記述式の項目で-5ポイントとなり、この結果からも、簡単な計算問題から応用問題まで対応できるように、基礎固めが課題であることがうかがえる結果となつた。

無回答率は全国11.3%、大阪府12.6%、本校9.6%と全国・大阪府と比較しても低く、苦手ながらも学習に対する意欲が現れる結果となつた。

【今後に向けて】

〈国語〉

日々の授業を通じて、読解力を養うことが必要であることがわかる結果となった。「思考力、判断力、表現力等」の「C 読むこと」の項目に関しては-5.3ポイントであり、この項目のみ全国平均を下回っている。単元ごとの復習テストの内容を基本的な「知識及び技能」の項目内容だけでなく、記述式の「読む」「書く」問題を追加して実施する。実際細やかに振り返りテストを行っていることで基礎学力の定着につながっている。国語が得意な生徒も苦手意識を持つ生徒も全体的に底上げができるよう努めたい。

〈数学〉

今回の全国学力・学習状況調査では、すべての項目で全国平均を下回る結果となつた。現在も実施している少人数制習熟度別授業やICT機器を使用した授業を続けることで、基礎学力の定着を図っていく。効果的にICT機器を使用した授業を行うことで、図形や表を読み取る問題の理解に努めていく。繰り返し小テストを行い、やり直して復習することで基礎基本の定着を図り、課題の解決につなげていく。

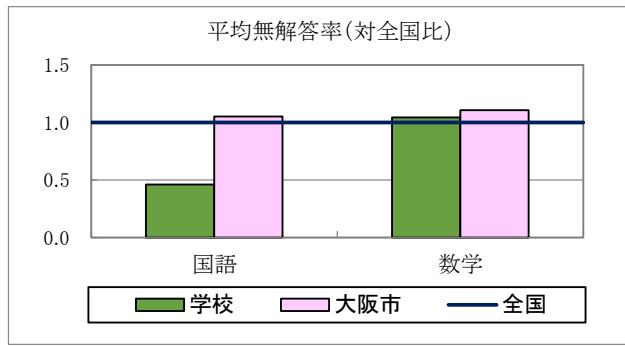
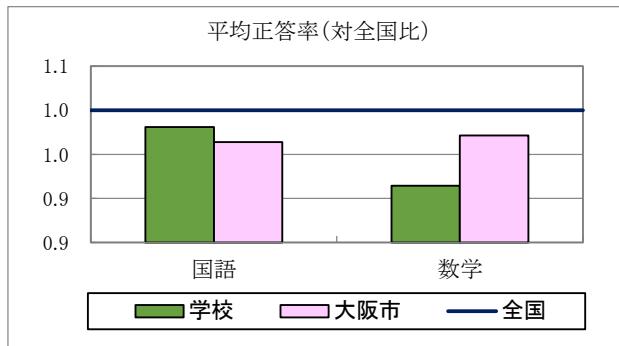
**令和6年度 野田中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—**

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【 全 体 】

	平均正答率(%)	
	国語	数学
学校	57	48
大阪市	56	51
全国	58.1	52.5

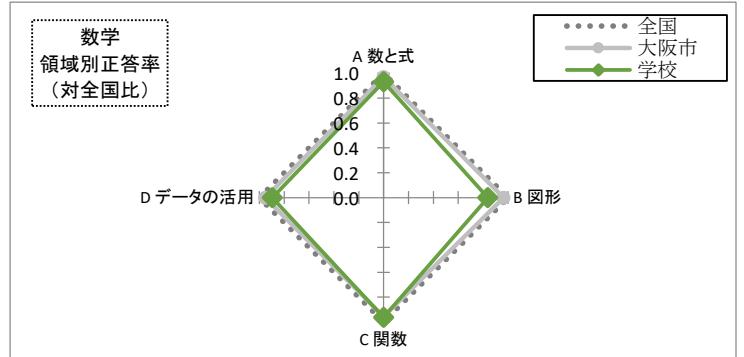
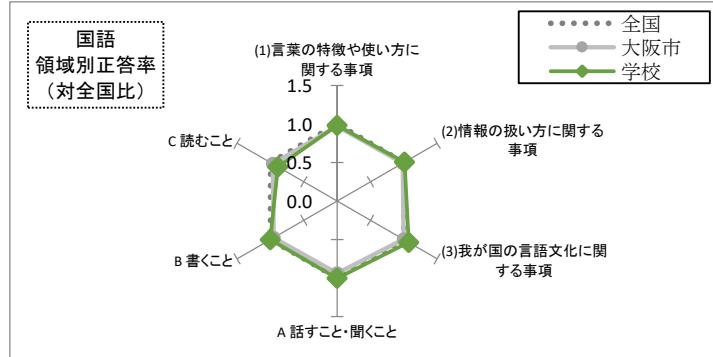
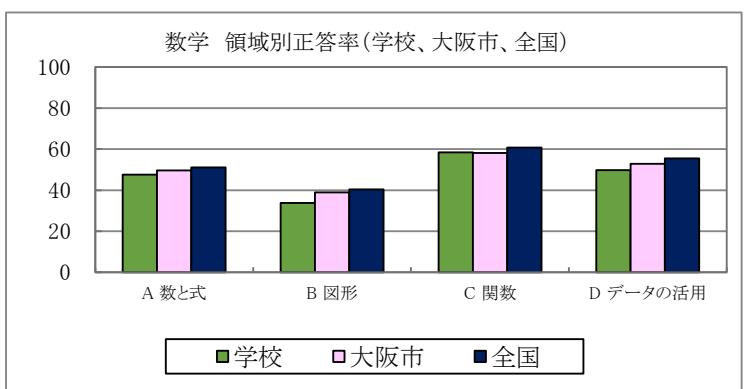
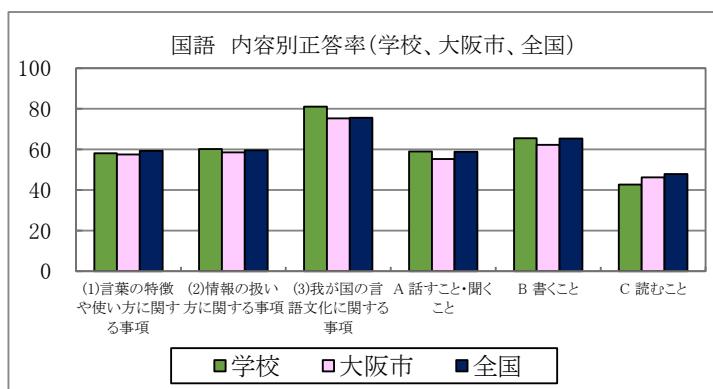
平均無解答率(%)	
国語	数学
1.8	11.8
4.1	12.5
3.9	11.3



【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方にに関する事項	3	58.1	57.5	59.2
(2)情報の扱い方にに関する事項	2	60.1	58.5	59.6
(3)我が国の言語文化に関する事項	1	81.1	75.3	75.6
A 話すこと・聞くこと	3	59.0	55.2	58.8
B 書くこと	2	65.5	62.2	65.3
C 読むこと	4	42.6	46.2	47.9

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と式	5	47.6	49.6	51.1
B 図形	3	33.8	38.9	40.3
C 関数	4	58.4	58.1	60.7
D データの活用	4	49.7	52.8	55.5



令和6年度 野田中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

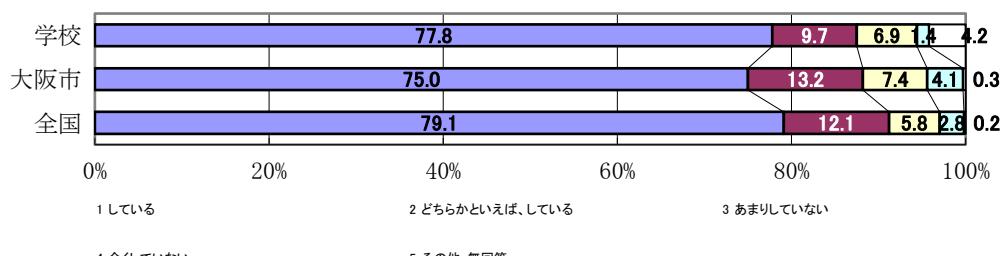
生徒質問より

■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

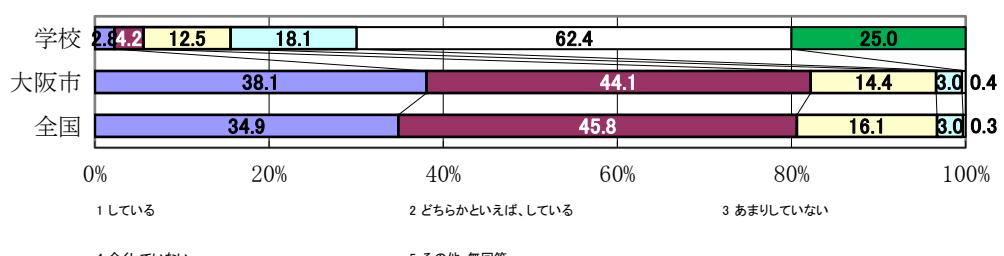
1

朝食を毎日食べていますか



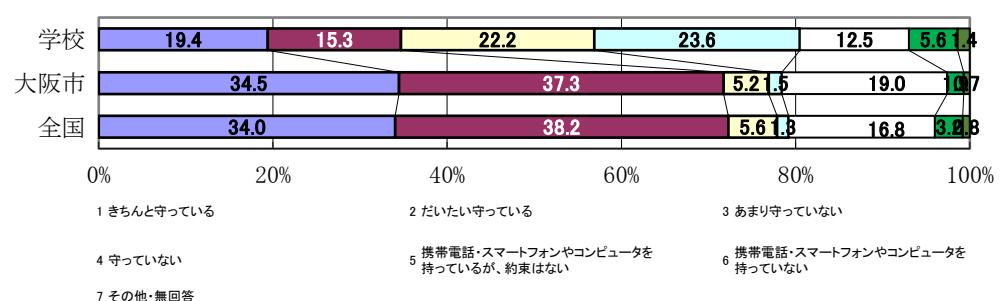
2

毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



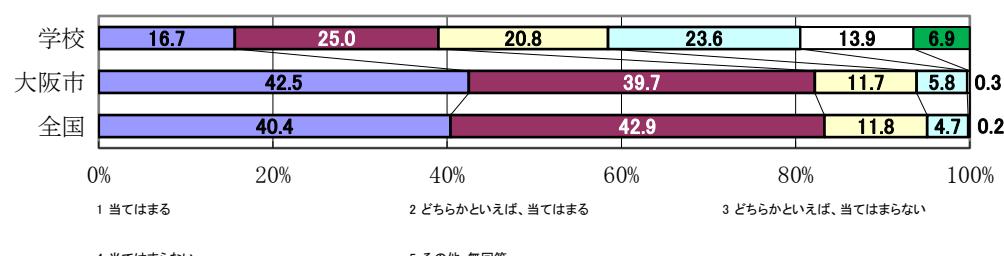
7

携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか



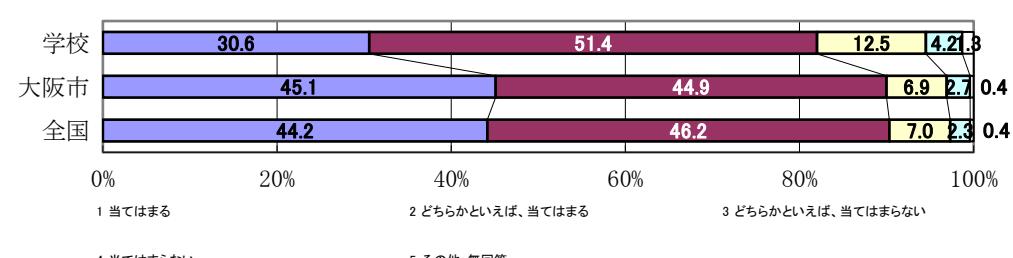
9

自分には、よいところがあると思いますか



10

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



令和6年度 野田中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

学校質問より

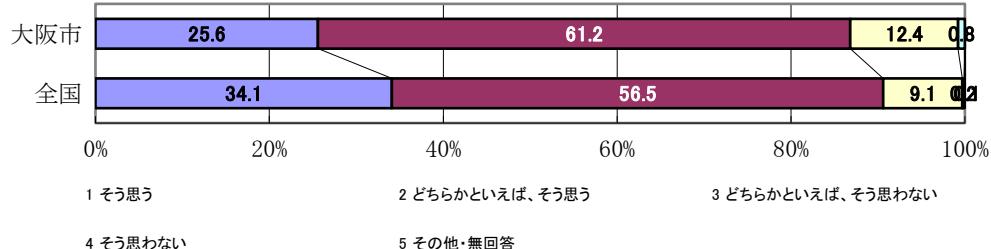
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

質問番号
質問事項

22

今までの取組をそのまま踏襲するのではなく、新しい取組を導入したり、提案をしたりしてくる教職員が多いと思いますか

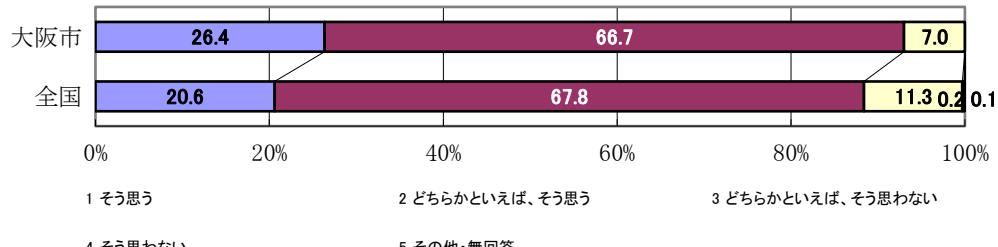
学校 「そう思う」を選択



25

調査対象学年の生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか

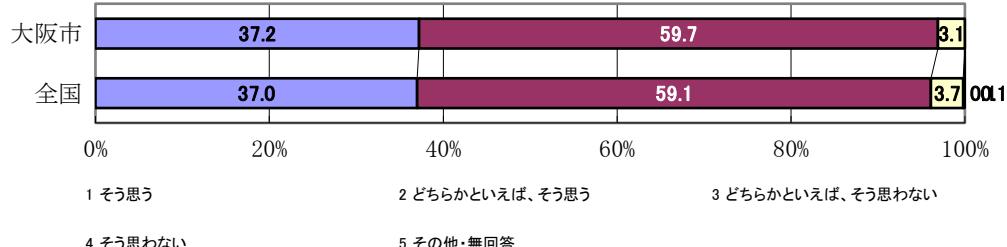
学校 「そう思う」を選択



28

調査対象学年の生徒は、授業や学校生活では、友達や周りの人の考え方を大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組めていると思いますか

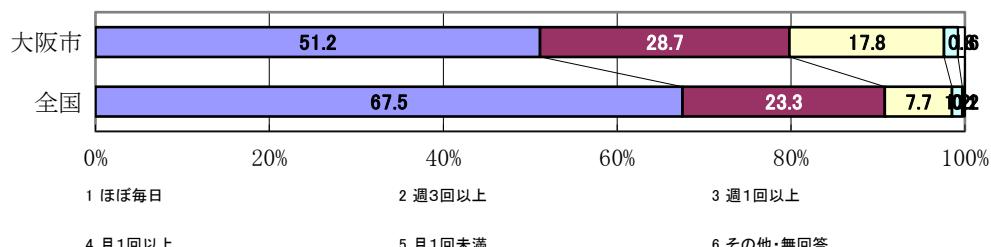
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



60

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか

学校 「週3回以上」を選択



74

コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解は深まりましたか

学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択

